

— Recruitment

メデイカルチーム 募集要項



～助産師編～

202606

 Japan Heart

目次

01	メディカルチームとは	09	応募方法
02	活動地・活動期間・活動開始時期	10	採用～参加(渡航)までの流れ
03	主な役割	11	国内活動の位置づけ
04	業務内容	12	待遇
05	応募条件	13	進路
06	求める人物像	14	体験談
07	期待される能力	15	よくある質問
08	選考プロセス	16	応募に関するお問合せ

01 メディカルチームとは

ジャパンハートの海外医療現場で長期間活動するメンバーの総称。
医師や看護師をはじめとするメンバーが臨床医療の実践を通じて自身の専門性や経験を活かしながら現地人と一緒にワンチームで活動しています。



02 活動地／活動期間・活動開始時期

活動地／活動期間

国内／6カ月



ジャパンハートがプロデュースする離島・へき地医療看護師応援サイト

「RIKAjob」で活動します。ジャパンハートのメディカルチームの一員として、病院スタッフと関係性を築きながら当事者意識をもって病院や地域の課題に取り組みます。

※活動地はその時の病院の人員状況等を鑑み、ジャパンハートで決定します。

▼RIKAjobとは▼



活動地／活動期間

海外(カンボジア)／1年



周産期事業の展開がカンボジアのため、カンボジアでの活動となります。

メディカルチームで活動後、さらに長期的に活動したい方は、職員採用へご応募いただけます

※採用選考あり

活動開始時期

1月／4月／7月／10月

面接時に参加希望時期をお聞きします。

03 主な役割

01

患者中心の医療を 実践する

- 限られた医療資源や環境の中でも、患者にとって何が最善かを考え、自身の専門性を活かして医療を提供する。

02

現地スタッフの育成・教育に関わる

- 知識や技術を伝えるだけでなく、「なぜそう考えるのか」という背景や判断の根拠も共有し、現地スタッフが自立して考え行動できるように支援する。

03

現場課題の改善 に取り組む

- 現場で生じる課題に対して、「仕方ない」で終わらせず、より安全で継続可能な医療につながる改善を行う。

04 業務内容

国内

配属先の業務内容に準じます

※看護師業務と兼務になる場合があります

海外

●看護業務（カンボジア／ジャパンハートこども医療センター）

- ・内科・外科の成人・小児患者に対する病棟や外来での看護業務（時期により婦人科もあり）

●助産業務（カンボジア／公立病院・ヘルスセンター）

- ・現地助産師の業務の補助・指導

例：産褥・新生児ケア、新生児蘇生、分娩介助、妊婦健診や分娩時のモニター装着と読み方指導、帝王切開に関する技術指導など

- ・活動先のニーズ調査 など

※役割・業務内容は現場の医療活動の進捗や人員状況、また個人の能力等によって上記に限らず、多岐にわたることがあります。

05 応募条件

- 助産師免許所有
- 臨床経験：助産師3年以上（もしくは看護師3年以上、かつ助産師2年以上）
- ACLSコース資格保持者
※未受講、もしくは期限が失効している方は海外活動開始前までに取得
- ジャパンハートの一員として活動して頂くため、活動への理解があり
Vision / Mission / Valueにコミットできること
- 長期活動の特性および安全管理上の観点から、初回応募は原則65歳以下の方を対象としています

06 求める人物像

01

理念・チームへの コミットメント

ジャパンハートの理念や活動方針を理解し、組織の一員として責任ある行動ができる人。

個人プレーではなく、チームで協力しながら現地の医療に向き合える姿勢が求められます。

02

主体性と成長意欲

限られた環境や変化の多い現場でも、自ら考え、学び、改善し続けられる人。

課題から目を背けず、自分にできることを模索し続けられることを重視しています

03

適応力・柔軟性

患者や家族、現地スタッフの背景や価値観を理解しようとしながら、誠実に向き合える人。

また、異なる文化や環境の変化を受け止め、柔軟に行動できることを大切にしています。

07 期待される能力

01

現場を捉える力

患者や地域、医療現場の状況を観察し、本質的な課題やニーズを把握できる力。

02

判断・工夫する力

限られた資源や変化する状況の中でも、自ら考え、優先順位をつけながら行動できる力。

03

専門性を活かす力

自身の専門知識や経験を現場で発揮し、患者への医療提供や現地スタッフの育成、医療の質向上に活かせる力。

04

看護実践能力

患者の状態をアセスメントし、臨床推論をもとに看護計画の立案・実践・評価ができる力。



国内活動中、メディカルチーム看護師・助産師向けにジャパンハートのスーパーバイザー医師によるオンライン臨床推論レクチャーを受講し、海外で実践できるフレームワークを学びます。

08 選考プロセス

01

採用エントリー

メールにて提出書類を送付

02

書類選考

提出書類をもとに、応募条件や参加時期、適正など審査。

03

面接選考

原則：2次面接まで
*オンラインで実施

04

採用決定

活動開始時期の調整を
します

09 応募方法

提出書類(様式自由)を、メールで送付ください。 ※メールタイトル:(お名前)採用エントリー(職種)



medical_hr@japanheart.org

提出書類

- ① 履歴書 ※ご希望の活動開始時期を記載してください
- ② 職務経歴書
- ③ エッセイ ※書き方は以下参照



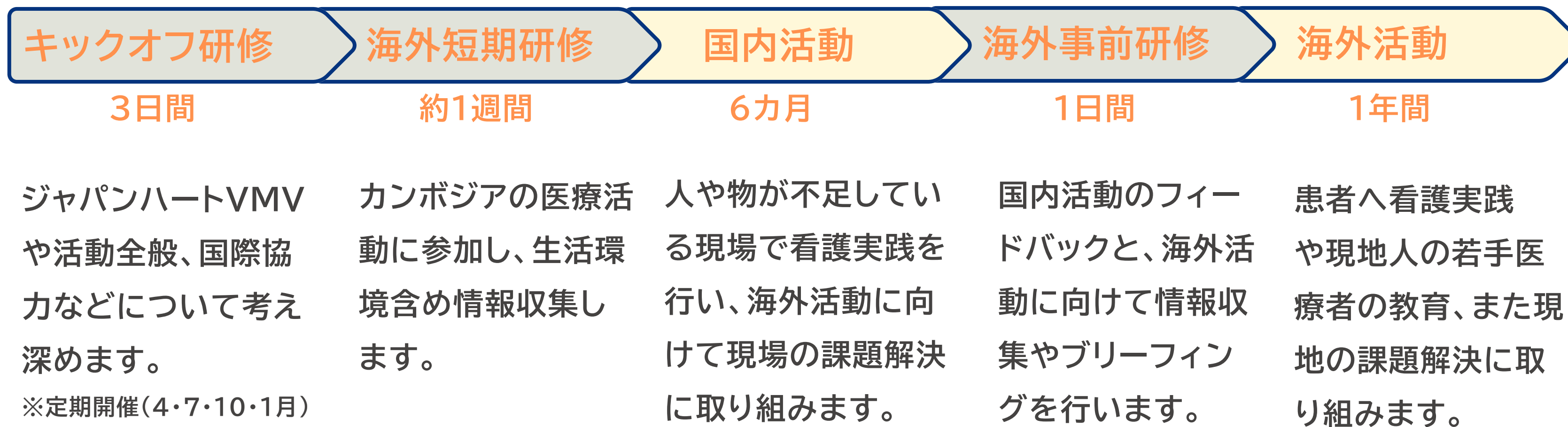
ジャパンハート行動指針(以下リンク先A~Lの12項目)から1つ選択し、その項目をご自身で実行された具体的なエピソードをあげながら、以下の点を意識してご記載ください。→ [ジャパンハート行動指針はこちら](#)

- ・そのエピソードの中でご自身が学び、仕事そして人生に生かされていると思うこと。
 - ・そのエピソードの中でご自身がどのように考え、自分の人生にどのような影響があったか
 - ・そのエピソードの中で得られた価値観、価値観が大きく変わったという経験
 - ・今回選択された行動指針を踏まえて、ジャパンハートをなぜ志望したのか、ジャパンハートで実行していきたいこと
- ※すべて網羅する必要はありませんが、どんな考えをお持ちの方なのかがわかるようにご記載をお願いします。

提出期限

通年募集。ご希望の参加開始時期の3カ月前までにご応募ください。

10 採用後～海外活動までの流れ



【参考】

実施時期 4月 第1/2週

4月 第2/3週

5/1-10/31

11月 第1週

11月 中旬/下旬

※4月活動開始の場合

11 国内活動の位置づけ

01

国内活動の目的

離島・へき地の医療現場で看護実践を行いながら、ジャパンハートの一員として現場の課題に気づき、改善に向けて動き続ける経験を積みます。

02

国内活動中の 主な取り組み

- 現場での看護実践・課題改善
配属先での看護実践に加え、現場課題への気づきと改善行動に取り組む
- 臨床推論レクチャー
医師によるオンライン講義で臨床推論のフレームワークを習得
- 毎月の面談
スタッフとのオンライン面談で目標設定・振り返りを実施

03

国内活動を経て 海外へ

毎月の面談で現場での実践・課題改善への取り組みを振り返り、6カ月後の海外活動参加を目指します。

※国内活動での取り組み状況によっては、さらに経験を積む期間として延長となる場合や、海外活動への参加が難しいと判断されるケースもあります

12 待遇

- 国内**
- 主各医療機関から給与が支給（社会保険あり）
 - 借り上げマンションなど住居環境あり ※大型家電・wifi完備

海外

- 経費：自己負担

主な経費

- 航空券・海外傷害旅行保険・食費・共益費・雑費
※ジャパンハート宿舎は無償提供
- 予防接種費用
- 東京でのキックオフ時の移動費・宿泊費
- ジャパンハート医療従事者会費（活動参加にあたり会員登録が必要）

- 生活補助費の支給

海外活動7カ月目より支給（200 \$ / 月）

13 メディカルチーム終了後の進路例

- ジャパンハート職員として、引き続き海外で働く。
※ジャパンハートと雇用契約を締結します
- 他NGOへ所属し、アフリカ等の途上国で引き続き支援活動を行う。
- 日本の医療機関(地域医療や訪問看護など)で働く。
- RIKAjobで日本の離島・へき地の医療機関で働く。
- 熱帯医学、認定看護師など進学する。

13 体験談



助産師
柳さん

Q

活動内容を教えてください。

妊婦健診(無料胎児エコー、保健指導等)、ハイリスク分娩のサポート、ハイリスクの産後ケア。そのほか、周産期事業として児の乳幼児健診、地域活動としてジャパンハートのあるポンネル地区の8つのHCで出張妊婦健診、NCPRの普及活動などを行っており、カンボジア人の助産師たちと一緒に一歩ずつ準備を進めました。

Q

1年間の活動を終え、率直な感想を教えてください

大変なこと、後悔すること、落ち込むこともありましたが、振り返ると、楽しかったです。そして、日本と比べると、カンボジアの出生率は高く、沢山の母子に出会い、沢山の出産に立ち会うことができました。貴重な経験の多い、充実した1年間を過ごすことができました。

Q

参加者へのアドバイスをお願いします。

途上国での活動に不安がある方もいるかもしれませんが、カンボジア人のスタッフと一緒に助け合いながら日々活動しています。カンボジアの人たちはみんな温かく迎え入れてくれます。現場の状況は日々変わるので、その時できることを自分のできる限りでやってきました。あまりハードルを作らず、興味があればぜひ参加してみたいです。

15 よくある質問：1/2

Q どの分野のキャリア、経験年数があるとよいですか。

現地ではご経験ある分野を優先的に配属します。ご経験ある分野は積極的に実践・指導していただき、未経験分野については現地で経験を重ねながら、自身の能力を底上げしていきます。それぞれの経験値を活かしてチーム医療なので取り組んでいます。

※ご自身のキャリアなど不安や質問がある方は、オンライン個別相談を随時行っておりますのでご利用ください。

Q 日本の国家資格免許でなぜ海外で医療行為ができるのですか。

ジャパンハートが各国の政府(保健省など)と覚書を交わしています。そのため、ジャパンハートの一員として活動する医療者に限っては、日本の国家資格免許での医療行為が特別に許可されています。

Q 英語はどのくらいのレベルが必要ですか。

カンボジア・ラオスで活動する場合、現地人スタッフとのコミュニケーションが英語になります。一方で現地人スタッフも英語は母国語ではないため、流暢な英語や難解な英単語が通じない場合があります。そのため上級者レベルの英語より、中学生レベルの文法と英単語を使って相手に伝わるコミュニケーションが重要になります。カルテの記載は英語です。診療には優先的に通訳が付きます。また基本的にはWi-fiがあるのでインターネットで調べることも可能です。

※現地の患者さんとのコミュニケーションは現地語になりますので、通訳を介します。

15 よくある質問：2/2

Q

メディカルチーム活動終了後も引き続き海外で活動することはできますか。

できます。その場合、スタッフ(有給職員)となりますので、スタッフ採用フローにのって面接をさせていただきますが、採用となった場合、長期的に活動いただけます。現在海外で働いている医療者スタッフはメディカルチーム出身です。

Q

予防接種は必須ですか。

外務省が推奨する予防接種をご案内しています。必須・推奨について以下をご参照ください。必須の予防接種をされていない場合、活動場所を制限させていただく場合があります。

【必須】麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘：

罹患歴がある or 2回以上の予防接種歴がある or 血液検査で抗体が証明されている

【医療者は必須・非医療者は強く推奨】B型肝炎：

2回もしくは3回以上の予防接種歴があり、抗体が証明されている(or 最終の接種歴が5年以内)

【推奨】A型肝炎・破傷風・日本脳炎・狂犬病・腸チフス

Q

現地の治安は大丈夫ですか。

原則的に現地の治安が保たれている状況下で活動していますが、屋内・外出時に限らず、貴重品の管理は自己責任のもと十分にお気を付けください。特に移動時や買い物時などは外国人目当てのスリやひったくりなどが発生しています。現場のルール・及び安全管理マニュアルがありますのでそれに従ってください。また渡航前のご自身でも十分な情報収集と対策をお願いいたします。

16 応募に関するお問合せ

メール

medical_hr@japanheart.org

メディカルHR担当

オンライン個別相談

メディカルチームへのご応募を検討されている方を対象に、オンラインによる個別相談を受け付けています。語学力、経験値、参加時期など個別のケースに応じて対応します。お気軽にお問合せください。

ぜひお気軽にご相談ください

随時
受付中

国際医療 メディカルチーム
オンライン個別相談

国際協力や離島へき地医療で
活動経験のあるスタッフが
対応いたします!

詳しくはこちら →

